

準備

カメラにケーブルを接続する

設置の前に、ご使用環境に合わせ、必要な付属ケーブルをカメラに接続し、配線しておきます。

- カメラ底面のケーブルカバーの取り付けネジをはずし、ケーブルカバーをはずす。
- 使用するケーブルをカメラ底面の穴から通す。
- ケーブルを端子に接続する。
 - ① I/Oケーブル：EXT CTRL端子へ
 - ② BNCケーブル：VIDEO OUT端子へ
 - ③ オーディオケーブル：AUDIO端子へ
- ケーブルをカメラ本体のケーブルガイドに沿って配線する。ケーブル押さえのツメのあるところは、ケーブルをツメの内側に入れる。
 - ご注意**
ケーブルがドームケースにはさまれないよう、必ずケーブルガイドとツメを使って配線してください。
- 底面側から軽くケーブルを引いてケーブルのたるみをなくし、ケーブルカバーをネジ止めます。カメラを壁面に設置するときは、屋内配線用スリットを折り取ってケーブルを通してください。

設置

- 警告**
- 壁や天井など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 天井への設置は、本体とブラケットを含む重量に充分耐えられる強度があることを確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、付属のワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 天井へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

カメラの取り付け位置を決める

カメラの撮影方向を決め、付属のテンプレートをを使って配線用の穴(φ50mm)をあけ、ブラケット取り付け用穴(2か所または4か所)の位置を決めます。

- 取り付けネジについて**
付属のブラケットにはφ4.5mmの穴があります。このうち、2か所(ピッチ83.5mm)または4か所(ピッチ85.7mm)を使ってブラケットを天井や壁にネジ止めします。設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。(ネジは付属していません。)
- 鋼材の場合：**M4ネジとナットで固定してください。
木材の場合：タッピンネジ(呼び径4)で固定してください。板厚は15mm以上必要です。
コンクリート壁の場合：ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。
ジャンクションボックスの場合：ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

- 警告**
設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因となります。

カメラを取り付ける

- ドームケースをはずす。
 - ① ネジカバーをはずして、プラスドライバーでネジをゆるめる。
 - ② ドームケースを目印まで回してはずす。(ネジが引っ掛かるときは、ネジを上を持ち上げてください。)
- スリットカバーを取りはずす。スリットカバーを外側に広げるようにして取りはずしてください。
- 付属のブラケットを天井や壁に取り付ける。
 - ① 付属の段付きネジで、カメラ底面のワイヤーロープ取り付け穴にワイヤーロープを固定する。ワイヤーロープは、ガイドの間を通して配線してください。
 - ② ワイヤーロープを天井または壁に取り付ける。
- 付属の本体取り付けネジ(2本)でブラケットにカメラ本体を取り付ける。ネジには脱着防止機構があります。ネジをカメラのネジ穴に差し込んだ状態でカメラ本体を逆さにしても、ネジは落下しません。

- ご注意**
天井や壁に取り付けネジを使えない場合や、カメラ本体を目立たせたくない場合は、天井埋め込み金具YT-ICB45 (別売)をご使用ください。

撮影方向と撮影範囲の調整

- カメラヘッド固定ネジをゆるめる。
- カメラを調整して、撮影したい方向にレンズを向ける。
- カメラヘッド固定ネジを締めてカメラを固定する。
- レンズリング固定ネジをゆるめる。
- ズームリングを回して画角を決める。
- フォーカスリングを回してピントを合わせる。モニター画面に表示されるフォーカスアシストインジケーターを利用するとピント合わせが簡単にできます。「フォーカスアシスト機能」(下記)をご覧ください。
- レンズリング固定ネジを締めて、ズームとフォーカスを固定する。
- 希望の撮影範囲とフォーカスが定まるまで、手順1～7を繰り返す。

- ご注意**
- カメラヘッド固定ネジをゆるめずカメラヘッドの向きを調整すると、内部の部品が変形することがあります。
- カメラヘッドの動きが重く調整しにくい場合は、スムーズに動くまでカメラヘッド固定ネジをゆるめてください。
- カメラヘッドの可変範囲が制限されます。
- レンズを360°以上回転させないでください。内部の配線が破断される恐れがあります。
- レンズリング固定ネジのネジ穴は、120°間隔で3か所あります。カメラヘッドの向きによってレンズリング固定ネジが調整に支障をきたす場合は、いったん取りはずして他のネジ穴に付け換えて調整してください。
- 角度調整をする場合は、カメラヘッド部に刻印されているTOPを天井側に設定してください。TOPの刻印を床側に設定すると、映像が逆さまになります。

フォーカスアシスト機能

- VIDEO OUTスイッチで、使用するビデオモニターに合わせてカメラの動作モードを切り換える。
- IRISスイッチを押し、アイリスを開放する。モニター画面にIRIS OPEN表示とフォーカスアシストインジケーターが表示されます。フォーカスの合った度合によりバー①の長さが変わります。②はピークホールド値を示します。
- フォーカスリングを回し、バー①がピークホールド値②に達するように調整する。

ドームケースを取り付ける

- スリットカバーを取り付ける。
 - ご注意**
スリットカバーは、カメラマウントから少し浮いたところが正しい取り付け位置です。無理に押し込まないでください。
 - レンズリング固定ネジが邪魔になってスリットカバーが取り付けられない場合は、レンズリング固定ネジを別のネジ穴に取り付けてください。
 - レンズリング固定ネジ用のネジ穴は同心円上に3か所あります。
- ドームケースとカメラ本体を固定する。
 - ① ドームケースとカメラ本体の目印を合わせてドームケースをはめ、矢印の方向に回す。
 - ② ネジを締め、ネジカバーを取り付ける。

接続

ネットワークへの接続

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANケーブルとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

コンピューターへ接続するには
市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANケーブルとコンピューターのネットワークコネクタを接続します。

電源の接続

本機は、次の3通りの方法で電源を接続できます。

- DC 12V
 - AC 24V
 - IEEE802.3af準拠の電源供給装置(PoE*方式)
- *PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意
電源入力ケーブルとLANケーブルの両方から電源が供給された場合、LANケーブルからの電源が優先されます。

DC 12VまたはAC 24V電源への接続

本機の電源入力ケーブルをAC 24VまたはDC 12Vの電源供給装置へ接続します。

- DC 12VまたはAC 24Vは、AC100Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。
DC 12V: 10.8V ~ 13.2V
AC 24V: 21.6V ~ 26.4V
- DC 12VまたはAC 24Vの配線には、ULケーブル(VW-1 style 1007)を使用してください。

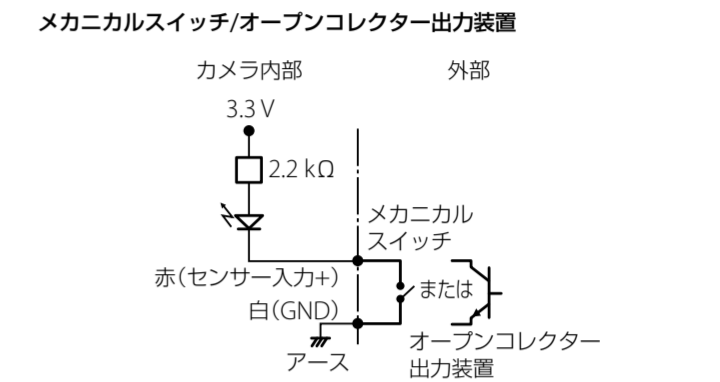
IEEE802.3af準拠の電源供給装置への接続

IEEE802.3af準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

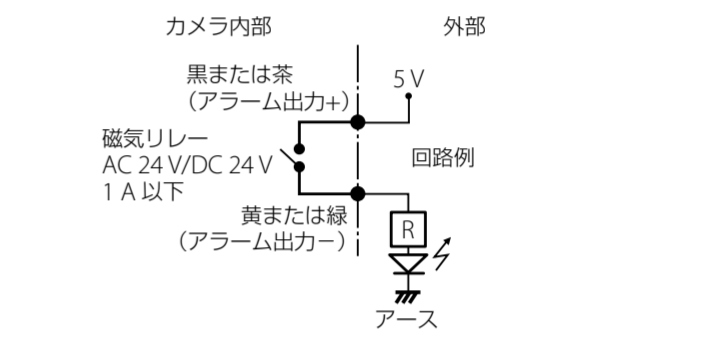
I/Oケーブルの接続

I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

センサー入力への配線図



アラーム出力への配線図



主な仕様

圧縮方式
映像圧縮方式 JPEG/MPEG4
音声圧縮方式 G.711/G.726 (40, 32, 24, 16 kbps)
最大フレームレート 30 fps

カメラ (SNC-DM110)
信号方式 NTSCカラー方式 / PALカラー方式(切り換え)
撮像素子 1/3 型インターライン転送方式(ExwavePRO) CCD
総画素数: 約132万画素
有効画素数: 約125万画素
同期方式 内部同期
水平解像度 600 TV 本(アナログビデオ)
映像S/N (AGC 0 dB時) 50 dB以上
最低被写体照度 (F1.3, 50IRE時) 0.4 lx (AGC 30 dB, 通常読み出し時), 0.1 lx (AGC 36 dB, ライトファンネル時)

カメラ (SNC-DS10)
信号方式 NTSCカラー方式 / PALカラー方式(切り換え)
撮像素子 1/4 型インターライン転送方式(ExwavePRO) CCD
総画素数: 約35万画素
有効画素数: 約33万画素
同期方式 内部同期
水平解像度 400 TV 本(アナログビデオ)
映像S/N (AGC 0 dB時) 50 dB以上
最低被写体照度 (AGC 36 dB, F1.3, 50IRE時) 0.1 lx

レンズ(SNC-DM110に標準装備)
焦点距離 2.8 ~ 9.5 mm
最大口径比 F1.3
画角 垂直: 73.6° ~ 21.9°, 水平: 100.3° ~ 29.1°
最接近撮影距離300 mm

レンズ(SNC-DS10に標準装備)
焦点距離 2.8 ~ 10 mm
最大口径比 F1.3
画角 垂直: 54.7° ~ 15.6°, 水平: 73.9° ~ 20.8°
最接近撮影距離300 mm

インターフェース

LANポート 10BASE-T/100BASE-TX, オートネゴシエーション(RJ-45)
I/Oポート センサー入力: ×1, MAKE接点, BREAK接点
アラーム出力: ×2 (最大AC/DC 24V, 1 A)
(メカニカルリレー出力、本体とは電氣的に絶縁)
映像出力端子 VIDEO OUT (BNC型) 1.0Vp-p, 75Ω不平衡, 同期負極性
マイク入力* ミニジャック(モノラル) プラグインパワー方式対応(基準電圧2.5VDC)
ライン入力* ミニジャック(モノラル)
*マイク入力とライン入力はスイッチによる切り換え
ライン出力 ミニジャック(モノラル)、最大出力レベル: 1Vrms

その他
電源電圧 DC 12V ±10%
AC 24V ±10% 50/60Hz
IEEE802.3af準拠(PoE方式)

消費電力 SNC-DM110: 最大 8 W
SNC-DS10: 最大 7.5 W

使用温度 0°C ~ +50°C
保存温度 -20°C ~ +60°C
動作温度 20 ~ 80 °C
保存湿度 20 ~ 95 %
外形寸法(直径/高さ) 140×118 mm (突起部含まず)

質量 約780g (ケーブルとブラケット含まず)
付属品 CD-ROM (ユーザーガイド、簡易設定ガイド、付属プログラム)(1)、ブラケット(1)、テンプレート(1)、ワイヤーロープ(1)、本体取り付けネジ(2)、段付きネジM4(1)、オーディオケーブル(1)、I/Oケーブル(1)、LANケーブル(1)、BNCケーブル(1)、電源入力ケーブル(1)、設置説明書(一式)、保証書(1)

別売アクセサリ
天井埋め込み金具 YT-ICB45
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

定期点検のお願い

本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。
外観上は異常がなくても、使用頻度によって部品が劣化している可能性があります。故障したり事故につながる可能性があります。
◆詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

補修用品の保有期間

発売終了後、原則7年間保有しますが、場合によっては代替品等に対応いたします。